

## **重要** 床暖房対応・低温間接式床暖房対応フローリング注意事項

床暖房対応・低温間接式床暖房対応のフローリングは、熱源や室内湿度の影響を受けて、生活に支障のない範囲で伸縮したり、膨張したり、多少のクラック(割れ)をする可能性があります。

リスクを100%回避するものではなく、リスクを最小限に抑えた性質の商品であるとお考え下さい。

- 床暖房商品は、各床暖器具メーカーの施工要領に沿って施工を行ってください。
- 床暖房商品はフローリングと熱源の間に厚み 12mm以上の耐水合板を捨て貼りし、接着剤とフローリング釘を併用し、段差がないよう仕上げてください。その際、接着剤は櫛目ゴテで下地に全面塗布し、フローリング釘を根太・小根太に固定してください。その際、下地に小根太とパイプの位置をあらかじめ記しておき、絶対にパイプに釘を打ち込まないよう、ご注意ください。
- スラブ内に熱源が埋まっている場合のみ、直接スラブに接着剤で直貼り施工をし、熱源パネル等が露出している場合は、直接、熱源に直貼り施工は行わないでください。
- 施工後は養生期間(最低2日間以上)を充分おいたうえで、試運転を行ってください。
- 床材の表面温度は 27℃を超えないようにしてください。
- 施工後初めての運転開始、また冬シーズン初めての運転開始時は、「ならし運転」を行い、徐々に温度を上げてください。急激に温度を上げますと、基材および表面の挽板に負荷がかかり、反りや痩せ、剥離、クラック(割れ)が起きるリスクが高まります。必ず段階を踏んで設定温度を上げてください。
- フローリングの過乾燥を防ぐため、床暖房・低温床暖房でご使用の際は、必ず加湿器などを使用して室内の湿度を50%程度に近づけ湿度管理をお願いします。  
※冬場のお引渡し前の現場や、モデルハウスなど人の生活のない状態で、床暖および床下間接式暖房を連続で運転するとフローリング自体の水分が急激に失われ、反り・痩せ・クラック(割れ)のリスクが高まります。そのような状況下では必ず加湿器などで湿度を適切に保つようをお願いします。
- 電気カーペット、絨毯のご使用は控えてください。床との隙間に熱がこもり、剥離や収縮、反りのリスクが格段に高まります。

株式会社シーゲル 札幌ショールーム

〒064-0809 北海道札幌市中央区南 9 条西 17 丁目

TEL:011-522-0175 FAX:011-522-0176

Email: sapporo@seegel.co.jp URL: www.seegel.co.jp

営業時間: 9:00~18:00 (毎週水曜定休)